

# E

## lementary school



写真上 昭和の森の散策中に森の案内人の説明を聞く翁島小緑の少年団の団員ら  
写真下 「緑を愛し、森林を守ることの大切さを学びます」と誓いの言葉を述べる佐藤さん(左)

### 緑を守ることの大切さ学ぶ

第38回緑の少年団絆づくり大会は7月25日、町体験交流館学びなと昭和の森で開催されました。県内12の緑の少年団などから350人が参加したこの大会には、吾妻小、猪苗代小、翁島小、緑小の緑の少年団から84人が参加しました。学びいなかで催された式典では、活動発表大会の表彰式のほか、各団の活動内容発表やラジオパーソナリティーの森和美さんによる講演などが行われ、団員たちは熱心に聞き入っていました。式典の最後には、緑小緑の少年団の佐藤竜希さんが「緑を愛し、友情の絆を深め、森林を守ることの大切さを学びます」と誓いの言葉を述べました。式典終了後に昭和の森で行われた体験交流活動では、団員らが森の案内人から植物などについて説明を受けながら森を散策し、緑を守る大切さをあらためて感じ取っていました。

# N

## ursery school



写真上 「みぎー」「ひだりー」先生たちの声でスイカの前にたどり着き、力を込めて棒を振り下ろします  
写真下 お待ちかねの時間。大好きなスイカに夢中でかぶりつきます

### 児童らがスイカ割りに挑戦

猪苗代保育所のスイカ割りは8月2日、同保育所で催され、児童たちが自分の体ほどもある大きなスイカに挑みました。児童たちは、友だちには大きな声で「がんばれー」と声援を送り、自分の順番がくると、目隠しをして「まっすぐー」「おはしを持つほうー」という先生たちの声を頼りに、3分ほど先にあるスイカを目指しました。スタスタと前に進みさつと棒を振り下ろしてしまう子、一步一步ゆっくりと慎重に進んでいく子など、それぞれが個性を発揮しながらスイカ割りを楽しんでいました。スイカ割りが終わり、切り分けられたスイカが登場すると、児童たちは「おいしい」「冷たい」と話しながら、太陽よりもまぶしい笑顔でスイカにかぶりつきました。

# スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 選手にドリンクを渡す生徒ら。「取ってもらえるとうれしい」と笑顔  
写真下 「滑るので気を付けてください」と大きな声で選手一人一人に声を掛ける佐藤さんら

### 猪高生が鉄人らをサポート

8月26日に開催された第14回うつくしまトライアスロンinあいづには、猪苗代高校のJRC委員会やスキー部などの生徒12人がボランティアとして参加し、鉄人たちの過酷なレースをサポートしました。参加した生徒らは、天神浜で受付、給水所や足洗い場などを担当。すべての選手たちが自転車で天神浜を後にすると、大粒の汗を流しながら選手の荷物をトラックに積み込みました。レース前に足洗い場の準備をしていたスキー部の佐藤和貴さんは「いつもは周りの人たちに支えてもらっている立場。今日は選手が競技に専念できるように、精一杯サポートします」と話していました。受付や給水所などを担当した森田未来さんと渡部杏菜さんは「選手がノリのいい人ばかりでとても楽しかった。ぜひまた参加したいです」と感想を述べました。



写真上 元気に遊ぶ子どもたち。滑り台が大人気  
写真左 「いい湯だなー」とおどける3人。そこは足湯じゃないよ  
写真右 最後にみんなで記念撮影しました

### 幼稚園と保育所の交流図る

今年2回目となる吾妻幼稚園と中ノ沢保育所の交流会は8月30日、亀ヶ城公園で開催され、両施設の4、5歳児合わせて25人が交流を深めました。公園に到着した園児たちは、自己紹介を終えると水着に着替えてじゃぶじゃぶ池へ。大好きな水遊びを仲良く1時間ほど楽しみました。中ノ沢保育所の福地輝さん、鈴木くるみさん、鈴木愛咲さんの3人は「噴水とぞうさんの滑り台が楽しい」と元気に話していました。



# H

## igh school

# K

## indergarten & Nursery school